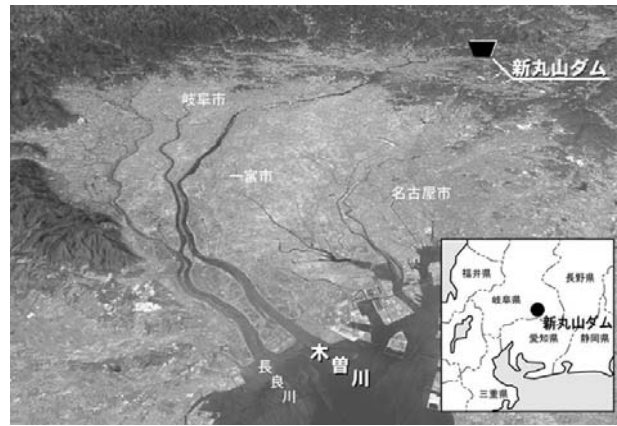


1 事業の概要

新丸山ダム事業は、木曾川本川中流部に位置する既設丸山ダム（右岸：岐阜県加茂郡八百津町八百津地先、左岸：岐阜県可児郡御嵩町小和沢地先）を有効に活用し、洪水調節能力などをさらに高めるため 24.3 m 高上げる事業です。



新丸山ダム位置

〔目的〕

①洪水調節

新丸山ダム下流域を水害から守るため、ダム地点における計画高水流量、毎秒 8,300 m³のうち毎秒 3,600 m³を調節します。（河川整備計画）

②既得取水の安定化及び河川環境の保全等のための流水の確保

渇水の時、既得取水の安定化と、河川環境を守るために必要な水を下流に放流します。

③発電

関西電力株式会社の既設発電所において、最大出力 22,500kw の増電を行い、最大出力 210,500kw の発電を行います。

2 事業費

(億円)

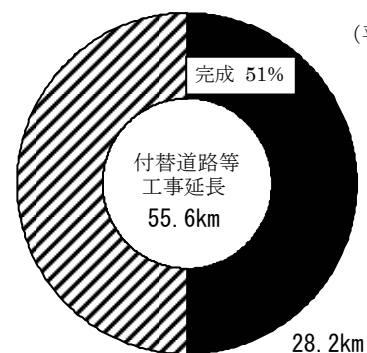
| | 平成22年度 | 平成23年度 |
|------------|--------------|--------------|
| 多目的ダム建設事業費 | 3.1 (9.3) | 2.6 (5.3) |
| 受託事業費 | 0.2 | 0 |
| 合計 | 3.3 | 2.6 |

(注) 数字は、事業費ベース（業務取扱費を除く）です。

() 書きは、業務取扱費を含んだ額です。

3 事業の進捗状況

付替道路等工事実施状況

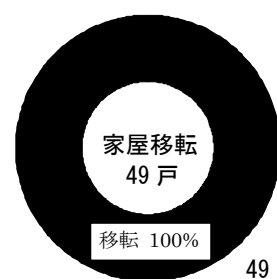


(平成23年3月末)

用地取得状況

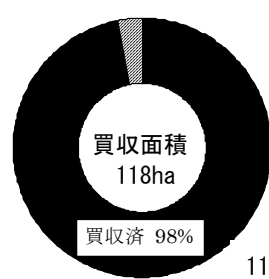
(平成23年3月末)

家屋移転契約状況



49戸
※平成12年完了

水没地買収状況



115ha
(関西電力を除く)

●S58年9月 洪水の状況（美濃加茂市内）



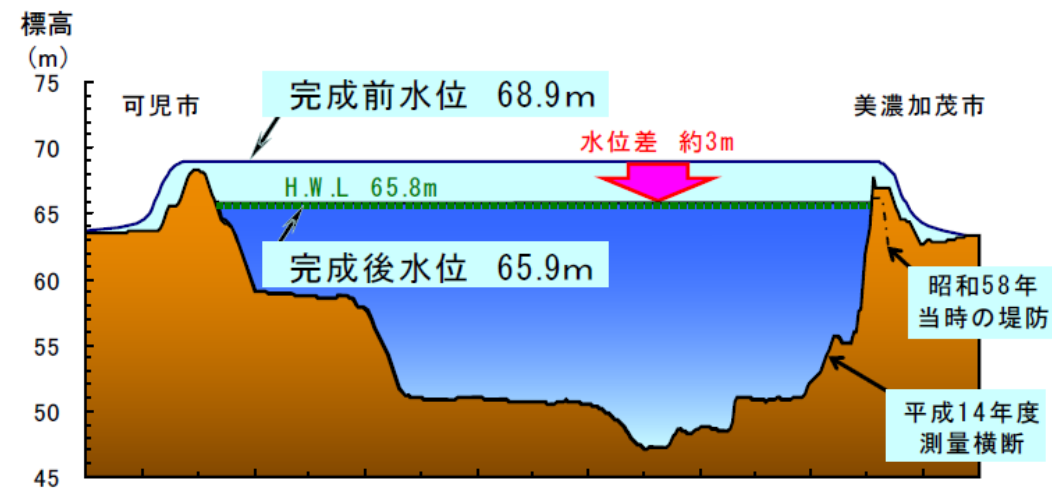
(出展)「忘れ得ぬ9.28災害 災害誌(美濃加茂市)」

●新丸山ダムによる水位低減効果

美濃加茂市の今渡ダム下流地点にて、河川整備計画の目標対象流量(昭和58年9月の洪水)の試算で約3mの水位低下効果があります。

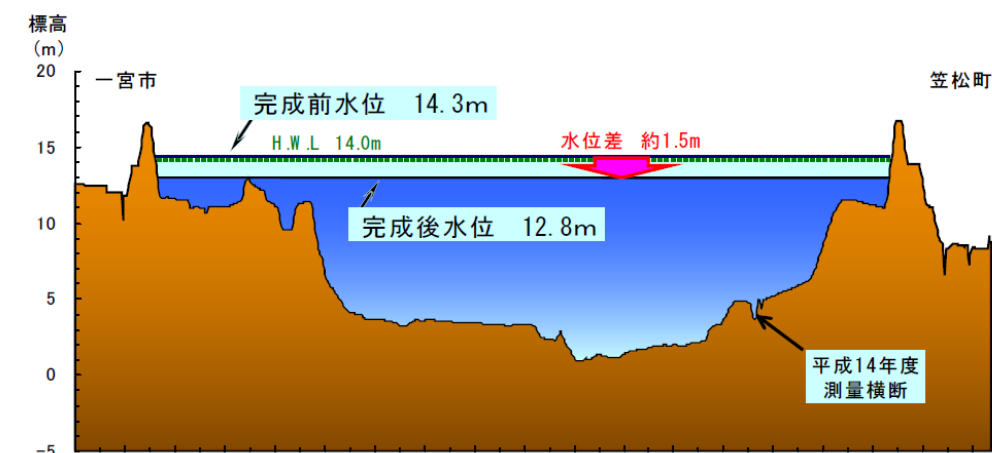
また、一宮市の木曾川橋下流地点では、同じく約1.5mの水位低下の効果となります。

・今渡ダム下流地点



※新丸山ダム完成前水位 68.9mは、木曾川の既存ダム（岩屋、阿木川、味噌川、丸山ダム）の洪水調節後の水位
対象洪水：昭和58年9月（実績規模）
検討断面：67.0k、平成14年度測量横断

・木曾川橋下流地点



※新丸山ダム完成前水位 14.3mは、木曾川の既存ダム（岩屋、阿木川、味噌川、丸山ダム）の洪水調節後の水位
対象洪水：昭和58年9月（実績規模）
検討断面：39.6k、平成14年度測量横断